

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
4.0'	重要トラブル	以下の条件を満たす場合、瞬快クライアントをインストールしてから30日経過後、ドメインへログオン出来なくなる。 ・瞬快Rel.4.0クライアントがインストールされている。 ・ドメイン環境でドメインログオンの運用である。	プログラムの修正を行いました。	ALL Rel.4.0のみ	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
4.0a	新サービスパック対応	Windows Server 2003 SP1 に対応しました。	新しいサービスパック対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	マカフィー社 Managed VirusScanと瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター コーポレートエディション 7.0と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	日本エフ・セキュア社 F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティと瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	運用時	Windowsファイアウォール機能が有効な状態で、突然瞬快のリモート管理機能から操作が行えなくなる。	ドメインプロファイルと、ローカルプロファイルの両方に対して、瞬快のプログラムを例外リストに登録するようにしました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	瞬快のアイコンが赤くなり、瞬間復元機能が動作しない機種がある	瞬快がロードされるタイミングによりOSの他機能との競合が発生する場合に、競合を回避するよう対応しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	NEC MATE MY28V/R-Fのみ発生しておりました。
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	ログオン・ログオフ処理が正常に行えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	修復対象領域の設定にて、全角空白文字を含む、文字列を指定しないようにしてください。(フォルダ名の変更/ファイル名の変更など。)	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	修復無効モードに変更した後、システムのイベントに次のイベントが出力される。 ソース名: Service Control Manager イベントID: 7026 「次のブート開始ドライバまたはシステム開始ドライバを読み込むことができませんでした。SKFSD」	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位/ パーティション単位)	更新モードでの動作中、異常にディスク使用量を利用してしまう場合がある。	瞬快をインストールした環境においては、ブートオプション機能の競合を停止するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	以下のレジストリキー値を設定してください。 [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\Boot\OptimizeFunction] "Enable"="N" (無効)	
	Windows Update連携機能	管理機能に複数のNICが接続されている状態で、Windows Update連携が正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	マイネットワークのプロパティより、メニューの「詳細設定」>「詳細設定」を選択し、Windows Update連携を実行するNICの優先順位を高くしてください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	リモートログオン後、Ctrl+Alt+Delキーを押した画面でログオン情報のユーザ名や日付などが表示されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	ログオンスクリプトを設定しているユーザにて、リモートログオンを実施しても、ログオンスクリプトが動作しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	パスワード付きのスクリーンセーバーが有効になっているユーザにてリモートログオンを行った場合、スクリーンセーバーが有効にならない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SLFLOGONを選択した場合)	簡易ユーザ切り換えを使用している環境で、リモートログオンが実行できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前かつ、 WindowsXPのみ	リモートログオン方式をSKGINA方式にて運用ください。	
	リモートログオン	ログオン、またはログオフ中にリモートログオン機能からログオン、ログオフを実行すると、アプリケーションエラーが発生する場合があります。	リモートログオン機能より、ログオン、またはログオフ処理実行直後に再度ログオン、またはログオフ処理が行われた場合、クライアント側で、処理を行わないように修正しました。	ALL Rel.4.0'以前	ログオフ、またはログオン処理を実行後、しばらく時間を空けてから再度ログオフ、またはログオン処理を実行してください。	
	システムリカバリ機能	クライアントPCの設定で、コンピュータ名、IPアドレスの変更は可能ですが、DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバ)変更まで行いたい。	DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバのアドレス)まで設定可能であるように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	サービスの予約機能において、一回のみしか実行できないため、スケジューリングを行っての運用が出来ない。	予約機能において、実行後も予約状態を保つように機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築したい。	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築しても動作可能であるように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	クライアント登録機能を実行すると、既に登録済みクライアントPCであっても、登録処理が実行される。	既に登録済みクライアントPCについては、クライアント登録機能が実行されても、ローカルブートするように修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (管理機能のみ)	レベルアップを実施した後、個別に変更した環境設定ファイルの内容が初期化されてしまう。	レベルアップ前に、環境設定ファイルの内容を記憶し、レベルアップ後に設定するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (サーバ機能のみ)	レベルアップを実施した後、アプリケーションの追加と削除からアンインストールを行うと、「新しいバージョンの製品が既にインストールされています。」というメッセージが表示され、アンインストール出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0からRel.4.0' ヘルベルアップしたときのみ	製品CD-ROMのサーバインストールを実行して頂き、メンテナンスメニューより削除を選択して、アンインストールを実施してください。	
	バージョンアップ (サーバ機能のみ)	初期設定のインストールフォルダとは違ったフォルダを指定してインストールを行った場合、バージョンアップが出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.3.5以前から Rel.4.0 or Rel.4.0' へバージョンアップしたときのみ	Rel.3.5以前のサーバ機能をアンインストールして頂き、Rel.4.0サーバ機能を新規インストールしてください。	
	その他	Windows標準のDHCP設定において、MACアドレス予約を行う場合、手間がかかるが、簡単にMACアドレスの予約を行いたい。	瞬快の管理機能に登録されているクライアント情報を元に、NETSHコマンドにてインポート可能である形式にて出力されるように改善しました。	ALL Rel.4.0'以前	お手数をお掛け致しますが、手動にて登録をお願い致します。	
	その他	スタンドアロンでの運用を想定しているが、クライアント機能インストール時に瞬快サーバ名の入力が必要となっている。そのためクライアント機能のインストール作業が行えない。	サーバ名指定画面において、スタンドアロン運用も選択可能に変更しました。	ALL Rel.4.0'以前	サーバ名の指定で、存在しないサーバ名を指定してください。	
	その他	瞬快クライアント機能の状態取得コマンドのローカル版(SKSTAT.EXE)を追加して欲しい。	リモートからの状態取得コマンドしかありませんでしたが、ローカル版の状態取得コマンドを追加しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Windows XP HomeEditionに対して瞬快サーバ機能のインストール可能としました。	プログラムを改修しました。	□並 Rel.4.0'以前	なし	
	その他	ログオンパネルの表示設定で、Ctrl+Alt+Delを押した後、Escキーを押し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押すと、ログオン先がドメインからローカルに変わってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	以下の機能が動作中スタンバイモードへ切り替わらないように変更しました。 ・WindowsUpdate連携中 ・資源適用中 ・アプリケーション登録中 ・ファイル登録中	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Sleep.exeを実行してもスリープが実行されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	Sleep.exeと同フォルダに、CD-ROM内のTOOLフォルダに格納されているMFC711.dllとMSVCR71.dllをコピーしてください。	
4.0b	新OS対応	Windows Server 2003 Standard x64 Editionに対応しました。	新しいOS対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	管理機能、サーバ機能のみ対応
	ウイルス対策ソフト連携	シマンテック社Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター 2006と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	MDL社 ISIS Drawを起動して終了すると、ISIS Drawが終了時に、以下のようなメッセージを出力する。 メッセージ: SetFileSecurity() failed. Error 317	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	EPSON GT-F500iに添付の『EPSON Smart Panel』を実行するとアプリケーションエラーが発生し、起動できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	新規作成したファイルをCD書き込みウィザードに準備した後、ごみ箱へ移動する、または完全削除した場合、作成したファイルの内容が0KBバイトになってしまう。(既存ファイルの場合、影響ありません。)	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	修復対象領域に存在する、ファイルサイズが4GBを超えるようなファイル(VMWareのファイルなどが該当します。)にアクセスした場合、OSが再起動される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	WindowsUpdateを行った後、修復モードに変更して運用を行っている時、Windowsが起動してから数分～数十分後に突然再起動する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモートログオン (リモートログオン方式に SLFLOGONを選択した場合)	Windows XPの簡易ユーザ切り替え画面の状態で、スクリーンセーバーが起動中、リモートログオンが実行できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能	ポート番号を初期設定(10501)から変更した場合、管理機能からクライアント情報の取得が行えない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	管理機能	サーバOS上に管理機能をインストールした場合、ファイル登録機能がインストール出来ない。ファイル登録機能がインストール出来るようにし、ファイル登録処理をサーバOS上でも実行できるようにして欲しい。	サーバOSに管理機能をインストールした場合でも、ファイル登録機能のインストール/ファイル登録処理が行えるように、機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 並+資源OP <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能	Rel.4.0の管理機能から、Rel.3.5系のクライアント機能(パーティション単位の設定)を操作する場合、以下の機能が正常に動作しない。 ・モード変更 ・修復対象領域の設定	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前 復元タイプがパーティション単位のみ	なし	
	管理機能 システムリカバリ管理機能	「最新の状態に更新」を行うと、選択している状態が再描画により失われる。選択した状態を保持して欲しい。	最新の状態に更新を行っても、選択状態を保持するように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能 システムリカバリ管理機能	見やすいサイズ/位置に画面を変更したにも関わらず、管理機能を一度終了すると元の状態に戻る。再度起動したときには、前回終了時のサイズ/位置で起動して欲しい。	終了時の画面サイズ/位置を記憶し、起動時には終了時と同じサイズ/位置で起動するように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ管理機能	サーバと管理機能が同一端末にインストールされている場合、システムリカバリサーバへ接続するためのユーザ名入力画面を無くして欲しい。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	なし	システムリカバリサーバへ接続は、実行ユーザ権限で行います。そのためシステムリカバリ管理機能の起動はDeployment Adminsグループに属するユーザにて行ってください。
	WindowsUpdate連携機能	パッチが適用されているにも関わらず、実行結果には、「全ての更新に失敗しました。(ErrorCode=191)」と表示される場合がある。	システムのイベントログが最大サイズに達したため、適用結果が出力されない環境が発生します。本現象を回避するため、クライアント機能インストール時、システムのイベントログは、「必要に応じてイベントを書き出す」設定に変更する処理を追加しました。	ALL Rel.4.0a以前	システムのイベントログにおける設定を変更するか、もしくはシステムのイベントログを削除してください。	クライアント機能を実行インストールすることで、インストール前の設定に戻します。
	サーバ機能	24時間稼働しているサーバに瞬快サーバをインストールしていると、突然クライアント情報が削除される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	サーバとクライアントが別セグメントの場合、「Requesting more DHCP options」のメッセージが表示されたまま、40秒程度処理が中断する。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	マルチキャスト配信において、一台のみエラーとなった場合、マルチキャスト配信が完了するまでエラーとなった一台にサービスが実行できない。実行できるようにして欲しい。	エラーとなった一台に対して、再度サービスが実行できるように、機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前		
	システムリカバリ機能 (クライアント機能)	システムリカバリクライアント機能をインストールした後、シャットダウンまでの時間が長くなる場合がある。 (シャットダウンが完了するまで、最大で30秒になります。シャットダウン完了まで30秒程度の環境では影響ありません。)	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能 (クライアント機能)	システムリカバリクライアント機能の動作、具体的には、個別設定を行っている状況が把握できない。状況が把握できるようにして欲しい。	画面に各処理の動作を表示するように、機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	なし	
	バージョンアップ (サーバ機能のみ)	サーバ機能をバージョンアップすると、WindowsUpdate連携で実行したログ情報が削除されてしまう。	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	その他	アプリケーション登録処理中、以下の条件が全て該当するファイルが存在する環境において、エラーが発生する。 ・アクセス権なし ・排他ファイル	プログラムを改修しました。	<input type="checkbox"/> 並+資源OP <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0a以前	なし	
	その他	コマンド(RPOFFEXE)実行における通信処理で、環境に依存しないようにタイムアウト時間が指定できるようにして欲しい。	通信のタイムアウト時間を明示的に指定できるように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	その他	メッセージダイアログが表示されるが、メッセージの内容が、「message not found」となる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	